

所属名称：建設課

(単位：千円)

(款-項-目-事業名称)	(最終予算額)	(決算額)	(ヘリ)	(備考)
一般会計				
建設課	1,029,610	706,970		
7.土木費	1,026,610	706,664		
1.土木管理費	5,365	5,276		
1.土木総務費	5,365	5,276		
土木総務事業	5,365	5,276	10-1	
うち繰越分	3,570	3,563		
2.道路橋梁費	749,620	523,989		
1.道路維持費	66,642	56,279		
道路維持管理事業	66,642	56,279	10-2	
2.道路新設改良費	636,819	421,874		
町道等改良整備事業	636,819	421,874	10-3	
うち繰越分	8,730	8,717		
3.除雪対策費	44,659	44,580		
除雪対策事業	44,659	44,580	10-4	
4.鳥取県中部地震対策費	1,500	1,256		
鳥取県中部地震対策事業(建設課)	1,500	1,256	10-5	
3.河川費	157,600	86,947		
1.河川維持費	6,600	2,854		
河川維持管理事業	6,600	2,854	10-6	
2.河川新設・改修費	151,000	84,093		
ラナガケ川改修事業	151,000	84,093	10-7	
4.都市計画費	4,313	4,149		
1.都市計画総務費	1,570	1,533		
一般管理費	1,570	1,533	10-8	
2.公園費	2,743	2,616		
小公園管理事業	2,743	2,616	10-9	
5.住宅費	109,712	86,303		
1.住宅管理費	50,980	43,920		
住宅管理事業	26,111	20,404	10-10	
うち繰越分	370	340		
コーポラスことうら管理事業	24,869	23,516	10-11	
2.住宅建設費	56,732	40,397		
公営住宅等整備事業	56,732	40,397	10-12	
3.鳥取県中部地震対策費	2,000	1,986		
鳥取県中部地震災害対策事業(住宅費・建設課)	2,000	1,986	10-13	
10.災害復旧費	2,999	305		
2.地震災害復旧費	2,999	305		
2.鳥取県中部地震対策費	2,999	305		
鳥取県中部地震災害対策事業(地震災害復旧費・建設課)	2,999	305	10-14	
12.諸支出金	1	1		
1.諸費	1	1		
1.国県支出金返納金	1	1		
国県支出金返納金	1	1		事務費

※端数処理の為、決算書の決算額と一致しない場合があります。

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

事業番号	222	事業名	土木総務事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	建設課	担当係	維持管理係						
予算区分	款	7 土木費	項	1 土木管理費	目	1	土木総務費		
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)				備考		
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	1,795	1,713			638	400	675		
平成28年度(明許)	3,570	3,563			582	2,800	181		
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標	-						
		実績	-						
		達成率	-						
事業の対象 (だれに)	土木総務								
事業の目的 (なんのため)	各種期成会等に参加し、社会資本総合整備等の促進について国へ要望活動を実施する。 急傾斜地崩落対策事業の推進を図り、安全な生活環境を創出する。 海岸・港湾施設の維持管理を行う。								
事業の 実施状況	【主な実施内容】 1. 公文地区急傾斜地崩壊対策事業負担金 59千円 2. 道路関係期成会負担金(道路整備促進期成同盟会ほか4団体) 110千円 3. 全国治水砂防協会鳥取県支部負担金 20千円 4. 海岸・港湾関係協会負担金 48千円 5. ふるさと海岸公園管理委託料、逢東海岸砂揚機械代 300千円								
成果と 課題	【成果】 1. 山陰道(北条道路)の事業再開への動きが加速、H29年度に事業再開されました。 2. 各種道路関係の期成会を通じて国関係機関等へ要望活動を行い、道路関係予算の獲得に繋げることができました。 3. 公文地区急傾斜地崩壊対策事業の整備推進により、施設本体の整備は完了、残事業として平成28年度に繰越して工事用道路の現状復旧等を残すのみとなりました。 【課題】 1. 急傾斜地崩壊対策事業は、調査測量の段階から受益者負担金が生じ、かつ、事業完了までは相応の負担が生じるため、要望はあるが事業化までには至っていません。 2. 社会資本整備総合交付金の配分額が減少傾向にある中で、予算獲得に向けた要望活動は重要度を増しているため、引き続き国への要望は必要と思われます。								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
評価点	10	10	1	3	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)			28	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	住民の生命財産を確保する上で、危険度の高い急傾斜地の整備は必要です。 道路改良の要望が多く整備にあたっては、国庫交付金の活用は必須であり、予算確保においては要望活動は必要です。								

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

事業番号	226		事業名	道路維持管理事業			事業区分	□新規 ■継続															
担当課	建設課		担当係	維持管理係																			
予算区分	款	7	土木費	項	2	道路橋梁費	目	1	道路維持費														
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)						備考														
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源																
平成28年度	66,642	56,279		77	32,000			24,202	H29繰越額9,750千円														
平成28年度(明許)								0															
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30																
LED街路灯新設・取替	基	目標	200	230	200	150																	
		実績	241	225	182																		
		達成率	120.5%	97.8%	91.0%																		
事業の対象 (だれに)	町道施設及び付属物																						
事業の目的 (なんのために)	町道の歩行者、通行車両の安全を図るため、道路、街灯、安全施設等の維持修繕を実施する。																						
事業の実施状況	<p>【主な実施内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 街路灯LED取替工事</td> <td>10,130千円</td> </tr> <tr> <td>2. 町道坂ノ上部落線ほか2路線側溝修繕工事</td> <td>8,343千円</td> </tr> <tr> <td>3. 町道鳴り石の浜線舗装新設工事</td> <td>2,574千円</td> </tr> <tr> <td>4. 町道槻下法万線ほか区画線工事</td> <td>2,348千円</td> </tr> <tr> <td>5. カーブミラー及び防護柵等安全施設の設置・修繕(19箇所)</td> <td>2,516千円</td> </tr> <tr> <td>6. 道路の老朽化等に伴う補修・修繕等対応</td> <td>10,758千円</td> </tr> <tr> <td>7. 道路台帳整備業務</td> <td>6,264千円</td> </tr> </table>									1. 街路灯LED取替工事	10,130千円	2. 町道坂ノ上部落線ほか2路線側溝修繕工事	8,343千円	3. 町道鳴り石の浜線舗装新設工事	2,574千円	4. 町道槻下法万線ほか区画線工事	2,348千円	5. カーブミラー及び防護柵等安全施設の設置・修繕(19箇所)	2,516千円	6. 道路の老朽化等に伴う補修・修繕等対応	10,758千円	7. 道路台帳整備業務	6,264千円
1. 街路灯LED取替工事	10,130千円																						
2. 町道坂ノ上部落線ほか2路線側溝修繕工事	8,343千円																						
3. 町道鳴り石の浜線舗装新設工事	2,574千円																						
4. 町道槻下法万線ほか区画線工事	2,348千円																						
5. カーブミラー及び防護柵等安全施設の設置・修繕(19箇所)	2,516千円																						
6. 道路の老朽化等に伴う補修・修繕等対応	10,758千円																						
7. 道路台帳整備業務	6,264千円																						
成果と課題	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 街路灯LED灯具への更新177基、新設5基を行い、通行者の利便性及び防犯能力向上に寄与することができました。 町道の舗装、側溝、安全施設等の修繕や更新を行い、道路機能の保全を図りました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>町道鳴り石の浜線舗装工事</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>町道坂ノ上部落線側溝修繕工事</p> </div> </div> <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 町道の老朽化や破損箇所はパトロールや住民からの通報で発覚することが多く、数値目標の設定は困難です。 昭和30年代～40年代にかけて町道認定した路線を数多く抱えており、橋梁や舗装、道路側溝の老朽化が進んでいます。道路施設の老朽化に加えて住民の安全意識向上により、数多くの地元要望を受けているが、予算を無尽蔵に投入することは困難であり、高まる要望に対応が追いついていません。 																						
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0														
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0														
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0														
評価点	10	10	3	3	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0														
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0														
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0														
評価点計 (40点満点)		30		判定基準																			
				A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止																			
担当課による判定と理由																							
B	町道は、国道・県道から続く毛細血管的な役割を果たし、住民生活の移手段だけでなく、物流面からも欠かすことができない施設であるため、永続的に機能を保持する必要があります。																						

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

事業番号	228	事業名	町道等改良整備事業			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
担当課	建設課	担当係	土木係					
予算区分	款	7 土木費	項	2 道路橋梁費	目	2 道路新設改良費		
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)				備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
平成28年度	628,089	413,157	228,207		52,900	125,600	6,450	H29繰越額207,700千円
平成28年度(明許)	8,730	8,717	4,613	1,040		2,800	264	
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30	
社会資本整備総合交付金(目標:事業費要望額、実績:配分額)	円	目標	448,000,000	430,000,000	762,000,000	459,800,000	504,000,000	
		実績	283,455,000	199,650,000	456,179,000	397,698,000		
		達成率	63.3%	46.4%	59.9%	86.5%		
事業の対象(だれに)	ICアクセス、通学路整備、改良事業、橋梁修繕、側溝修繕							
事業の目的(なんのために)	基幹町道の改良、通学路の安全確保、物産館ことうらへのアクセス道路、橋梁の耐震補強等を実施する。							
事業の実施状況	【主な実施内容】 ○社会資本整備総合交付金実施事業(町単独実施分含む) 1. ICアクセス整備 199,997千円(H29繰越額22,800千円) 2. 道路改良 52,560千円(H29繰越額20,000千円) 3. 通学路安全対策 48,193千円(H29繰越額19,800千円) 4. 橋梁老朽化対策 36,617千円(H29繰越額37,530千円) 5. 防災・安全対策 62,388千円(H29繰越額97,200千円)							
成果と課題	【成果】 1. 道路改良や修繕を実施し、主要な施設へのアクセス改善や通学路の安全対策のほか、大規模修繕により、道路機能の向上または保全を図ることができました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ICアクセス整備 (町道別所中線道路改良工事)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>通学路安全対策 (町道八幡坂線道路改良工事)</p> </div> </div> 【課題】 1. 国交付金を活用しながら事業を推進しており、配分により計画の進捗が左右されます。 2. 道路施設の老朽化に加え住民の安全意識向上により、地元から数多くの改良等要望を受けているが、交付金の配分が低下している中で、事業未着手の路線が増加しています。 交付金の配分率を上げることによって事業進捗を加速させるため、特化メニューによる重点配分を受けられるよう整備内容等、事業計画を見直していく必要があります。							
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。 10,7,3,0 妥当性 行政必須か、委託の可能性は。 10,7,3,0 公平性 受益者の偏りはないか。 5,3,1,0	
評価点	10	10	3	3	3	3	有効性 目標数値は達成できたか。 5,3,1,0 効率性 コスト・人員効率はどうか。 5,3,1,0 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1,0	
評価点計(40点満点)		32		判定基準				
				A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由								
B	町道は、国道・県道から続く毛細血管的な役割を果たし、住民生活の移動手段だけでなく、物流面からも欠かすことができない施設である。道路交通のあり方も代わってきているため、主要路線については随時改良が必要と思われます。							

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

事業番号	787	事業名	除雪対策事業			事業区分	□新規 ■継続							
担当課	建設課		担当係	土木係										
予算区分	款	7	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	除雪対策費					
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考						
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源							
平成28年度	44,659	44,580		2,778			41,802							
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30							
設定なし		目標	-											
		実績	-											
		達成率	-											
事業の対象 (だれに)	町道 260路線、県受託路線 5路線													
事業の目的 (なんのために)	積雪時における通勤・通学時や緊急車両の交通を確保し、住民の安全・安心な生活に資する。													
事業の実施状況	<p>【主な実施内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 町有除雪車両貸与による除雪委託料</td> <td>10,194 千円</td> </tr> <tr> <td>2. 融雪装置管理委託料</td> <td>1,227 千円</td> </tr> <tr> <td>3. 町内事業者所保有除雪車両借上による除雪</td> <td>25,862 千円</td> </tr> </table>								1. 町有除雪車両貸与による除雪委託料	10,194 千円	2. 融雪装置管理委託料	1,227 千円	3. 町内事業者所保有除雪車両借上による除雪	25,862 千円
1. 町有除雪車両貸与による除雪委託料	10,194 千円													
2. 融雪装置管理委託料	1,227 千円													
3. 町内事業者所保有除雪車両借上による除雪	25,862 千円													
成果と課題	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 町内の主要幹線道路をはじめ、生活道路の除雪を行い住民の安全・安心な生活に資することができました。 建設課内にて除雪車両の運転免許及び技能取得について1名の育成を図ることができました。  <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 降雪量は減少傾向にあるが、平成23年度や平成28年度のように一度に大量の降雪が生じる場合があるため、現状以上の除雪体制を維持する必要があります。 現在、町有の除雪車両を6台保有しているが、購入から40年近く経過しており、老朽化による故障も多くなってきていることから、年次的に車両を更新していく必要があります。 町内事業者へ委託を行っているが、オペレータは高齢化しつつあり、次世代の育成を支援する必要があります。 除雪車両が進入不可能な路線については、地元での除雪対応をお願いしているところであるが、高齢化等の社会情勢の変化により対応できない集落等が生じつつあり、行政へのニーズが高まっています。 													
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0						
評価点	10	10	3	3	3	1	妥当性 行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0						
							公平性 受益者の偏りはないか。	5,3,1,0						
							有効性 目標数値は達成できたか。	5,3,1,0						
							効率性 コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0						
						先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5,3,1,0							
評価点 計 (40点満点)	30		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止										
担当課による判定と理由														
B	除雪体制は継続して維持していく必要があります。													

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

事業番号	1370	事業名	鳥取中部地震災害対策事業（建設課）		事業区分	■新規 □継続							
担当課	建設課		担当係	維持管理係									
予算区分	7	土木費	2	道路橋梁費		4	鳥取県中部地震対策費						
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)				備考						
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源						
平成28年度	1,500	1,256					1,256						
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30						
道路災害復旧	箇所	目標			3								
		実績			3								
		達成率			100.0%								
事業の対象 (だれに)	町道等												
事業の目的 (なんのため に)	鳥取県中部地震により被災した町道を緊急修繕する。												
事業の 実施状況	<p>【主な実施内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 町道平和開拓幹線、岩本線路肩修繕</td> <td>1,057 千円</td> </tr> <tr> <td>2. 町道松井線路肩修繕工事</td> <td>97 千円</td> </tr> <tr> <td>3. 杉地市内線崩落石積撤去</td> <td>102 千円</td> </tr> </table>							1. 町道平和開拓幹線、岩本線路肩修繕	1,057 千円	2. 町道松井線路肩修繕工事	97 千円	3. 杉地市内線崩落石積撤去	102 千円
1. 町道平和開拓幹線、岩本線路肩修繕	1,057 千円												
2. 町道松井線路肩修繕工事	97 千円												
3. 杉地市内線崩落石積撤去	102 千円												
成果と 課題	<p>【成果】</p> <p>1. 平成28年10月21日に発生した鳥取県中部地震により被災した道路の復旧を終えることができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">町道平和開拓幹線路肩修繕工事</p>												
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。 10,7,3,0 妥当性 行政必須か、委託の可能性は。 10,7,3,0 公平性 受益者の偏りはないか。 5,3,1,0						
評価点	10	10	3	3	3	1	有効性 目標数値は達成できたか。 5,3,1,0 効率性 コスト・人員効率はどうか。 5,3,1,0 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1,0						
評価点 計 (40点満点)		30		判定基準 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止									
担当課による判定と理由													
B	町道機能の保持を行うため、災害により破損した箇所については復旧が必要です。												

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

事業番号	231		事業名	河川維持管理事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	建設課		担当係	維持管理係					
予算区分	款	7	土木費	項	3	河川費	目	1	河川維持費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)					備考
		6,600	2,854	国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
道路災害復旧	箇所	目標			3				
		実績			3				
		達成率			100.0%				
事業の対象 (だれに)	準用河川、普通河川								
事業の目的 (なんのために)	河川の機能保全のため維持管理を行う。								
事業の 実施状況	【主な実施内容】		1. 浦安地区水路改修工事		1,508 千円				
			八橋1区水路蓋修繕工事		994 千円				
成果と 課題	【成果】								
	1. 水路の改修のほか河床及び河岸の保護を行い、排水性の向上及び河川の保全に資することができました。								
									
	浦安地区水路改修工事		八橋1区水路蓋改修工事						
	【課題】								
	1. 気象の変化により、短時間に集中した降雨の傾向となつており、今後も家雨等も予想されることから、河川機能の保全及び費用対効果を勘案しながら改修していく必要があります。								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
評価点	10	10	3	3	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点 計 (40点満点)		30		判定基準		A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止			
担当課による判定と理由									
B	河川・水路は生活や農業生産活動等に欠かすことができないため、永続的に機能を保持することが必要です。								

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

事業番号	1271	事業名	ヲナガケ川改修事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	建設課		担当係	土木係					
予算区分	款	7	土木費	項	3	河川費	目	2	河川新設・改修費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	151,000	84,093				84,000	93	H29繰越額66,210千円	
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標	-						
		実績	-						
		達成率	-						
事業の対象 (だれに)	準用河川ヲナガケ川								
事業の目的 (なんのために)	ヲナガケ川下流域において、浸水被害が度々生じていることから、駅南エリアから西側に分水し 2級河川月の輪川に放流することで、浸水被害の防止を目的とする。								
事業の実施状況	<p>【主な実施内容】</p> <p>1. ヲナガケ川排水路整備工事 74,635 千円 (H29繰越額54,300千円)</p> <p>2. 下水道施設移転補償 8,481 千円 (H29繰越額11,910千円)</p>								
成果と課題	<p>【成果】</p> <p>1. 3か年での整備計画のうち、2年目の整備が完了しました。 町道梅田撰果場線の区間で暗渠 (BOXカルバート) 埋設を行いました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>3区区BOXカルバート据付中</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>3区区完成</p> </div> </div> <p>【課題】</p> <p>1. 次の工区は特殊工法による施工であるため、一層の安全確保等の現場管理が必要です。次年度が整備計画の最終年となるため、完成供用開始を目指します。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
評価点	7	10	3	3	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点 計 (40点満点)			27	判定基準					
				A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止					
担当課による判定と理由									
B	ヲナガケ川下流域で特に花見地区は、ヲナガケ川の越流による浸水被害に長年悩まされていたため、事業完了後は被害軽減の効果が期待されます。								

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

事業番号	233	事業名	一般管理費			事業区分	□新規 ■継続							
担当課	建設課		担当係	住宅係										
予算区分	款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	1						
								都市計画総務費						
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考						
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源							
平成28年度	1,570	1,533	752	373			408							
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30							
設定なし		目標	-											
		実績	-											
		達成率	-											
事業の対象 (だれに)	都市計画総務・旧耐震基準の住宅・建築物													
事業の目的 (なんのために)	都市の健全な発展と秩序ある整備を図るために都市計画を定め、都市計画関連事業の実施、都市計画審議会の運営を行う。 住宅・建築物の耐震化を促進し、町民の生命・財産を守るため、耐震診断、改修費用の助成を行う。													
事業の実施状況	<p>【主な実施内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 都市計画審議会開催</td> <td>1回</td> <td>16千円</td> </tr> <tr> <td>2 住宅等耐震診断</td> <td>6件</td> <td>1,509千円</td> </tr> </table>								1 都市計画審議会開催	1回	16千円	2 住宅等耐震診断	6件	1,509千円
1 都市計画審議会開催	1回	16千円												
2 住宅等耐震診断	6件	1,509千円												
成果と課題	<p>【成果】</p> <p>1 都市計画道路の見直しを行い、路線の変更・廃止を行いました。</p> <p>2 住宅・建築物の耐震化を促進するために、耐震診断を行いました。 住宅耐震診断 5件、 建築物耐震診断 1件</p>													
	<p>【課題】</p> <p>1 住宅・建築物の耐震化対策においては、更なる推進が必要です。</p>													
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0					
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0					
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0					
評価点	10	10	3	3	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0					
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0					
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0					
評価点 計 (40点満点)		30		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止									
担当課による判定と理由														
B	都市計画道路の見直しを行った。耐震化対策においては、更なる推進が必要です。													

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

事業番号	234	事業名	小公園管理事業			事業区分	□新規 ■継続							
担当課	建設課		担当係	住宅係										
予算区分	款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	2	公園費					
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考						
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源							
平成28年度	2,743	2,616					2,616							
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)		29	30						
設定なし		目標	-											
		実績	-											
		達成率	-											
事業の対象 (だれに)	都市公園（いなり公園、徳万公園、八橋公園、荒神公園、花見公園）、ふれあい広場（逢東海岸のふれあい広場、赤碕ふれあい広場）、その他公園（きらり公園）													
事業の目的 (なんのために)	公園の管理を適正に行い、町民の公共の福祉に資する。													
事業の実施状況	<p>【主な実施内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 公園施設清掃、植栽剪定</td> <td>904 千円</td> </tr> <tr> <td>2 公園遊具点検</td> <td>156 千円</td> </tr> <tr> <td>3 公園施設修繕</td> <td>1,036 千円</td> </tr> </table>								1 公園施設清掃、植栽剪定	904 千円	2 公園遊具点検	156 千円	3 公園施設修繕	1,036 千円
1 公園施設清掃、植栽剪定	904 千円													
2 公園遊具点検	156 千円													
3 公園施設修繕	1,036 千円													
成果と課題	<p>【成果】</p> <p>1. 公園遊具の点検や除草清掃等の維持管理を行い、憩いの場を提供することができました。 ポート赤碕ふれあい広場ほか ・公園施設清掃、植栽剪定 ・公園遊具点検 ・公園施設修繕</p> <p>【課題】</p> <p>1. 公園施設、遊具が老朽化しているため、年次的に更新及び修繕を行う必要があります。</p>													
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0						
							妥当性 行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0						
							公平性 受益者の偏りはないか。	5,3,1,0						
評価点	10	10	5	3	3	1	有効性 目標数値は達成できたか。	5,3,1,0						
							効率性 コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0						
							先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5,3,1,0						
評価点計 (40点満点)		32		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止									
担当課による判定と理由														
B	都市計画の中で都市公園等として維持してゆく必要があります。													

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

事業番号	237	事業名	住宅管理事業			事業区分	□新規 ■継続																
担当課	建設課		担当係	住宅係																			
予算区分	款	7	土木費	項	5	住宅費	目	1	住宅管理費														
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)				備考															
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源																	
平成28年度	25,741	20,064	565	831			19,008	H29繰越額5,260千円															
平成28年度(明許)	370	340	565	831			19,008	H29繰越額5,260千円															
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)		29	30															
設定なし		目標	-																				
		実績	-																				
		達成率	-																				
事業の対象 (だれに)	町営住宅344戸、特定公共賃貸住宅28戸、改良住宅30戸、町民住宅1戸、県営住宅34戸																						
事業の目的 (なんのために)	町営住宅、特定公共賃貸住宅、改良住宅、町民住宅、県営住宅の適正な維持管理を行う。																						
事業の 実施状況	<p>【主な実施内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 住宅通常修繕</td> <td>203件</td> <td>11,756千円</td> </tr> <tr> <td>2 東伯団地ポンプ取替え</td> <td></td> <td>1,623千円</td> </tr> <tr> <td>3 火災保険料</td> <td></td> <td>1,611千円</td> </tr> <tr> <td>4 保守委託料等</td> <td></td> <td>1,020千円</td> </tr> <tr> <td>5 光熱水費</td> <td></td> <td>697千円</td> </tr> </table>								1 住宅通常修繕	203件	11,756千円	2 東伯団地ポンプ取替え		1,623千円	3 火災保険料		1,611千円	4 保守委託料等		1,020千円	5 光熱水費		697千円
1 住宅通常修繕	203件	11,756千円																					
2 東伯団地ポンプ取替え		1,623千円																					
3 火災保険料		1,611千円																					
4 保守委託料等		1,020千円																					
5 光熱水費		697千円																					
成果と 課題	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 町営住宅等の維持管理を行いました。 町営住宅344戸、特定公共賃貸住宅28戸、改良住宅30戸、町民住宅1戸、 県営住宅34戸 滞納対策として、滞納高額者1件の明渡し訴訟に着手しました。 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 家賃滞納が増加傾向にあり、引き続き対策が必要です。 																						
	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0													
評価点	10	10	3	3	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0														
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0														
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0														
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0														
先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0																					
評価点計 (40点満点)		30		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止																		
担当課による判定と理由																							
B	低所得者等の住民のため、居住確保を行う必要があります。																						

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

事業番号	1028	事業名	コーポラスことうら管理事業			事業区分	□新規 ■継続																																	
担当課	建設課		担当係	住宅係																																				
予算区分	款	7	土木費	項	5	住宅費	目	1	住宅管理費																															
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)				備考																																
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源																																		
平成28年度	24,869	23,516				23,516																																		
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30																																	
設定なし		目標	-																																					
		実績	-																																					
		達成率	-																																					
事業の対象 (だれに)	コーポラスことうら80戸																																							
事業の目的 (なんのために)	コーポラスことうらの適正な維持管理を行う。																																							
事業の 実施状況	<p>【主な実施内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 住宅修繕</td> <td>55件</td> <td>2,687千円</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>2 駐車場借上げ</td> <td></td> <td>1,080千円</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>3 光熱水費</td> <td></td> <td>718千円</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>4 コーポラスことうら基金積立</td> <td></td> <td>18,740千円</td> <td colspan="5"></td> </tr> </table>								1 住宅修繕	55件	2,687千円						2 駐車場借上げ		1,080千円						3 光熱水費		718千円						4 コーポラスことうら基金積立		18,740千円					
1 住宅修繕	55件	2,687千円																																						
2 駐車場借上げ		1,080千円																																						
3 光熱水費		718千円																																						
4 コーポラスことうら基金積立		18,740千円																																						
成果と 課題	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> コーポラスことうらの維持管理を行いました。 家賃改定を行い、入居促進を行いました。 滞納対策として、明渡し訴訟を行いました。対象者2件 																																							
	<p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 家賃滞納が増加傾向にあり、対策が必要です。 																																							
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0																															
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0																															
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0																															
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0																															
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0																															
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0																															
評価点	10	3	3	3	3	1																																		
評価点計 (40点満点)			23	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止																																			
担当課による判定と理由																																								
B	雇用促進事業団から事業承継したコーポラスことうらを、維持管理を行う必要があります。																																							

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

事業番号	828	事業名	公営住宅等整備事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	建設課		担当係	住宅係					
予算区分	款	7	土木費	項	5	住宅費	目	2	住宅建設費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)				備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源			
平成28年度	56,732	40,397	4,870		28,705	4,200	2,622	H29繰越額13,397千円	
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標	-						
		実績	-						
		達成率	-						
事業の対象 (だれに)	町営住宅等の建替え又は改修、下水道接続								
事業の目的 (なんのために)	町営住宅等を適正に維持するため、町営住宅等の建替え又は改修を行う。								
事業の 実施状況	【主な実施内容】 1 とうはくハイツ外壁補修工事 24,096 千円 2 とうはくハイツ外壁補修工事監理料 702 千円 3 船望台公共下水管接続工事 1,298 千円 4 成美団地改修工事設計 2,376 千円 5 成美団地地盤変状調査 5,512 千円								
成果と 課題	【成果】 1 とうはくハイツ外壁補修工事を行いました。 2 船望台団地を公共下水道排水管接続工事を行いました。 とうはくハイツ  【課題】 1 改良住宅成美団地の改修工事が地盤診断により、中止となりました。 今後の団地のあり方検討を要します。								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
評価点	10	10	3	3	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点 計 (40点満点)		30		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	中止事業もあったが、今後も改修工事を順次行います。								

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

事業番号	1358	事業名	鳥取中部地震災害対策事業（住宅費・建設課）			事業区分	■新規 □継続													
担当課	建設課		担当係	住宅係																
予算区分	款	7	土木費	項	5	住宅費	目	3	鳥取県中部地震対策費											
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)				備考												
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源														
平成28年度	2,000	1,986						1,986												
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30													
設定なし		目標	-																	
		実績	-																	
		達成率	-																	
事業の対象 (だれに)	町営住宅等																			
事業の目的 (なんのため)	鳥取県中部地震により被災した町営住宅等を緊急修繕する。																			
事業の 実施状況	<p>【主な実施内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>とうはくハイツ地震緊急修繕</td> <td>17千円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>いなり団地地震緊急修繕</td> <td>719千円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>一里松団地地震緊急修繕</td> <td>861千円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>槻下団地地震緊急修繕</td> <td>297千円</td> </tr> </table>								1	とうはくハイツ地震緊急修繕	17千円	2	いなり団地地震緊急修繕	719千円	3	一里松団地地震緊急修繕	861千円	4	槻下団地地震緊急修繕	297千円
1	とうはくハイツ地震緊急修繕	17千円																		
2	いなり団地地震緊急修繕	719千円																		
3	一里松団地地震緊急修繕	861千円																		
4	槻下団地地震緊急修繕	297千円																		
成果と 課題	<p>【成果】</p> <p>1 鳥取中部地震災害を受けた町営住宅の修繕を行いました。</p>																			
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0											
評価点	10	10	3	3	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0											
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0											
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0											
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0											
						先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0												
評価点計 (40点満点)		30		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止															
担当課による判定と理由																				
E	小規模の地震災害対策はH28年度で終了です。																			

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

事業番号	1339	事業名	鳥取県中部地震災害対策事業（地震災害復旧費）		事業区分	■新規 □継続			
担当課	建設課		担当係	住宅係					
予算区分	款	10	災害復旧費	項	2	地震災害復旧費	目	2	鳥取県中部地震対策費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	2,999	305			305			H29繰越額2,690千円	
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標	-						
		実績	-						
		達成率	-						
事業の対象 (だれに)	町営住宅等								
事業の目的 (なんのために)	鳥取県中部地震により被災した町営住宅等の緊急修繕以外の修繕を行う。								
事業の実施状況	<p>【主な実施内容】</p> <p>1 松ヶ丘団地等地震修繕 305千円 屋根の被害が大きかったために、本格修繕は翌年度に繰越しました。</p>								
成果と課題	<p>【成果】</p> <p>1 鳥取中部地震災害を受けた町営住宅の修繕を行いました。</p> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">松ヶ丘団地</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">地震後</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">養生後</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> </div> <p>【課題】</p> <p>1 修繕が中部一円にあり、年度内に間に合わず、繰越事業となりました。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
評価点	10	10	3	5	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)		32		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	地震災害対策は、H29年度にも繰り越し対応します。								